



FUTURE CENTER NEWS

フューチャーセンター通信 2014.02.25 vol.02
2014年3月19日発行号

ぎふフューチャーセンターは、地域が岐阜大学や岐阜大学生に期待すること、大学や学生が期待されていることを主題に、岐阜大学地域協学センターが中心となり、県内各地で開催されています。この取り組みは文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択され、岐阜大学の地域貢献が期待されています。第2回は2月25日、郡上市の総合文化センターで開催しました。



郡上の魅力や課題を意見交流

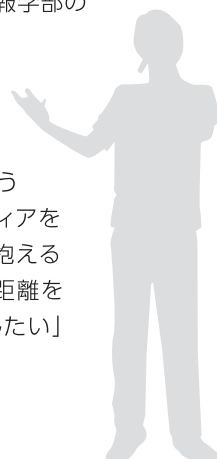
未来に向けたアイデアを出し合う

フューチャーセンターは、学生や大学関係者、社会人など、職業や所属などの枠にとらわれず、多様な人々が未来について語り合う「対話の場」。未来に向けたアイデアや解決策を出し合い、地域の課題を解決する糸口を見つけます。

今回は、大学生をはじめ、郡上市の職員、地元で活躍するNPOや企業の社会人など約70人が参加しました。はじめに、地域協学センター長の小見山理事から「地域がどのようなことで悩んでいるかを発掘するのがフューチャーセンターの役割の一つ。岐阜大学と郡上市はこれからも未来に向けて関係が続いていく第一歩。お互いがとけこんで、良い議論を重ねていきたい」とあいさつがありました。

セッションでは、最初に静岡県でフューチャーセンターの活動を実践している静岡県立大学経営情報学部の学生がフューチャーセンターの概要と取り組みを紹介しました。続いて、岐阜大学総合情報メディアセンターの益川浩一准教授がファシリテーターを務め、セッションを進行しました。今回は、KJ法と呼ばれる手法で意見を交換しました。KJ法は、テーマに基づき、まず各自が意見を付箋に書き出し、模造紙に披露しながら、グループごとに図解化してまとめていきます。

今回のテーマは、「地域が岐阜大学に期待すること」「大学や学生が何を期待されていると思うか」です。参加した市民からは「社会人と学生が出会う場を増やしてほしい」「学生の活力やアイデアを活かしてまちおこしに参加してほしい」といった学生に期待する意見が多く聞かれたほか、地域が抱える雇用や獣害、空き家対策などについて、学生と意見を交わしました。学生からは「大学と郡上との距離を縮めるために、サテライトキャンパスなどを設置したらどうか」「大学で学んだことを郡上で活かしたい」「古民家を活用した取り組みに参加したい」などの意見が聞かれました。



<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp>

岐阜大学

CCSC

地域協学センター
Center for Collaborative Study with Community



各班で話し合った後、 発表を行い、情報を共有しました

参加者のコメント(抜粋)

- 岐阜大学への期待
- 空き家でチャレンジショップを学生に開いてほしい
- 「世界の人」に郡上八幡をPRする方法研究
- 水を活用したまちづくりのアイディア
- 地域活性化のスマホアプリづくり
- 学生を広報担当に
- 歴史的な街並みをどう活かすのか研究してほしい
- 郡上の新しいブランドづくり
- 観光客が滞在するための作戦づくり など



学生もアイディアを出せる場

岐阜大学 地域科学部 環境政策コース4年

岩田 紗代子 さん

市役所や医師の方が郡上の抱えている問題を率直に提示してくださり、考えるきっかけになりました。また、学生でもアイディアをどんどん出していいんだということを実感しました。このような場に一步踏み出すのはなかなか勇気があるかもしれませんが、ハードルはそれほど高くはないので、大学生もぜひ楽しみながら積極的に足を運んでほしい。



考えがつながる面白さを体感

岐阜大学 地域科学部 産業・まちづくりコース4年

加藤 育実 さん

率直に楽しかったです。話していくうちにいろいろな考えが出て、つながっていくのが面白いと思いました。大学生の意見を受け入れてくれる温かい雰囲気がありました。郡上を知ってほしい、むしろ教えたいと思っている方がいらして、その方々から教えてもらえると絶対に楽しいと思います。ぜひ友達を誘って多くの学生に参加してほしい。



静岡と岐阜のFCで切磋琢磨を

静岡県立大学 経営情報学部 4年

増田 貴光 さん

同じ問題を抱えていても、バックグラウンドが違っていると、いろいろなアイディアや解決策が出て面白いと感じました。フューチャーセンターは意見や提案を否定しないので、ワクワクします。また、社会人の皆さんと対等に話せる経験が得られ、提案を作り出したという自信にもなります。良いところを吸収して静岡と岐阜で切磋琢磨していきたい。



地域の方々と深い議論

静岡県立大学 経営情報学部 2年

小林 祐介 さん

静岡市は郡上市と対照的で、大学生がいることが当たり前なので、ありがたいと感じました。郡上で開かれたフューチャーセンターは、地域の方々が多く、深い議論ができたのが良かったです。静岡ではいろいろなところで広がっていますので、岐阜でも、地域の方々と学生の皆さんがつながる輪がどんどん広がっていくことを期待しています。



新たな気持ちで課題と向き合う

郡上市 商工観光部 観光課

酒井 義文 さん

郡上には大学がないため、最初は学生の皆さんとどう接していいかわかりませんでしたが、オープンな感じで、自然体で話すことができました。社会人は起承転結を考えながら結論を求めてしまいがちですが、学生の皆さんから素直で率直な意見が聞け、新たな気持ちで課題と向き合えることができました。学生には固定観念を崩していける人材として期待したい。



ウインウインの関係で盛り上げたい

メタセコイアの森の仲間たち 代表理事

興膳 健太 さん

学生の皆さんから期待をすごく感じ、郡上市民がいかに学生に有意義な場を提供できるかを考え直すきっかけになりました。郡上に来たのこともない学生も多かったのも、思い切り遊んで好きになってもらい、一緒に地域の課題に取り組んでもらいたいです。お互いウインウインの関係で、長い付き合いで盛り上げていけるといいと思います。